

平成26年度ホタテガイ採苗情報（第1報）

平成26年5月1日

発行：岩手県水産技術センター
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
 関係漁業協同組合



平成26年のラーバ調査を始めました。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は4.6℃で、水深0m～50mまで4～6℃台と低くなっています。透明度は4mでした。
- ラーバの出現数は県北部および県中南部とも、極めて少ない状況です。
- 試験採苗器を4月30日に垂下しました。付着稚貝数の結果は次回からお知らせする予定です。
- 付着盛期はまだ先です。採苗器を投入する場合は、複数回に分けて行ってください。

< 陸奥湾の状況（5月1日発行青森県ホタテガイ採苗速報） >

- ラーバの出現数は西湾平均で1,741個/m²、東湾平均で3,326個/m²と多くなってきましたが、依然として小型のラーバが主体となっています。200μm以上のラーバの割合は横這い傾向です。
- 試験採苗器の付着稚貝数は1個/袋（7～10日間）でした。

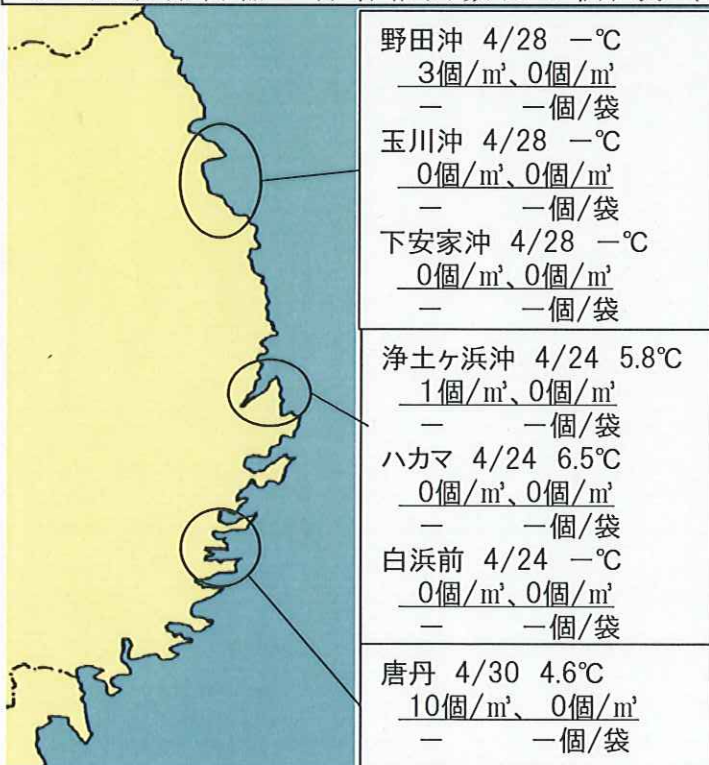


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 10m層水温
 ラーバ出現数(200μ未滿、200μ以上)
 試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

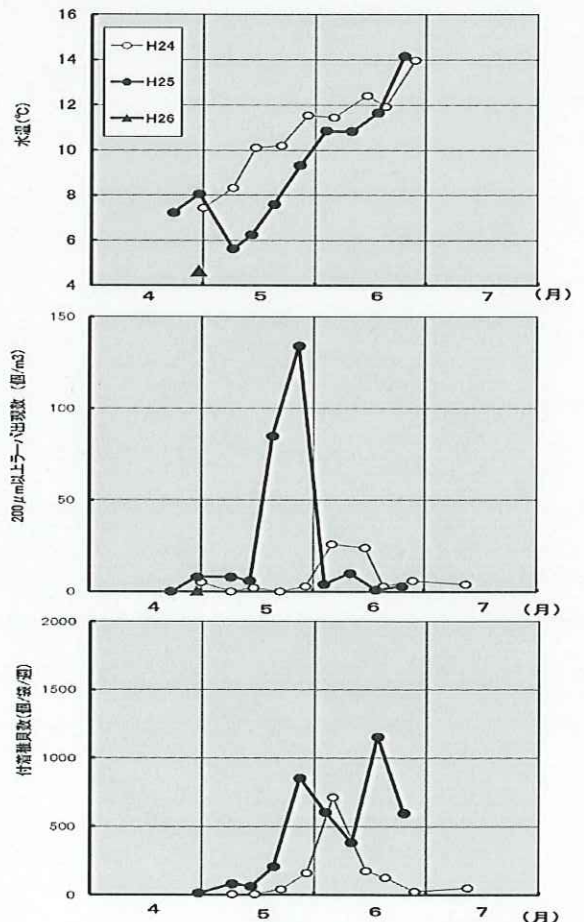


図2 唐丹湾における水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、5月8日に発行する予定です。